ボーリング柱状図

調　査　名	御代志土地区画整理事業地質調査業務委託
事業・工事名	区委第4号

ボーリングNO.

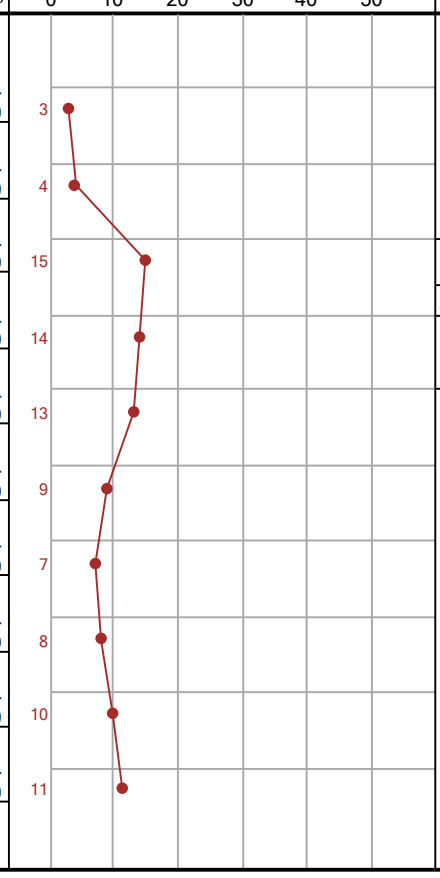
シートNO.

ボーリング名	No.1	調査位置	熊本県合志市一円地内					北　緯	32° 52' 59.3600"
発注機関	合志市役所			調査期間	2019-07-24 ～ 2019-07-29			東　経	130° 44' 57.0490"
調査業者名	肥後地質調査株式会社 電話 (096-365-3121)	主任技師	岩永　康博	現場代理人	岩永　康博	コア鑑定者	岩永　康博	ボーリング責任者	内田　英樹
孔口標高	85.69 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	10.00 m							試錐機	東邦D0-C
								エンジン	NFAD-8
								ハンマー落下用具	半自動型
								ポンプ	BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	85.19	0.50	0.50		砂礫 (GS)	暗灰			(盛土)コンクリート片と角礫混入。		
1	84.29	0.90	1.40		火山灰質粘性土 (V)	暗黒灰			(黒ぼく)均質な砂混じりシルトを主体とする。含水量が少なくやや固い。		
2	82.89	1.40	2.80		火山灰質粘性土 (V)	褐			(赤ぼく)粘土混じりシルトを主体とした均質な粘性土からなる。均質で含水量がやや少なく固い。強い指圧でへこみ、こねるとべたつく。最下部にφ5～8mmの細礫を混入する。		
3					礫混じり砂 (S-G)	暗褐灰			(段丘堆積物) 全体的にφ5～15mmの亜円～亜角礫を多く混入した砂質土からなる。 粒度分布の良好な細砂～粗砂からなり、礫分を25～35%混入する。 7.6m付近からやや凝灰質となりこねるとべたつく。 含水量は少なく、孔底まで水位はない。		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10	75.69	7.20	10.00								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1	1	2	4／30	4
2.45					
3.15	4	5	6	15／30	15
3.45					
4.15	4	5	5	14／30	14
4.45					
5.15	5	4	4	13／30	13
5.45					
6.15	3	3	3	9／30	9
6.45					
7.15	3	2	2	7／30	7
7.45					
8.15	2	3	3	8／30	8
8.45					
9.15	3	3	4	10／30	10
9.45					
10.15	3	4	4	11／30	11
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
3.00	孔内水平載荷試験 E=10980kN/m2
3.60 4.00	現場透水試験 k=2.08E-06m/s
5.00	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.60	T1-1	Ⓐ	物理一軸	07/24
2.20				
				07/25
				07/26